



## 会員インタビュー

Ms. Arati

### ネパールから東大への留学

東京大学と JICA 連携留学生受け入れプログラム「水道分野中核人材育成コース」の第 2 期生(2019 年の秋から2年間)4 名のうちの一人で、ネパールから初めて選抜されて来日しているアラティ(Ms.Arati Shrestha)さんに、修士論文の提出が終わった 8 月 2 日にオンラインでインタビューをしました。

ネパールからの留学生ということで、ネパール元 JICA 専門家の尾寄(堺市上下水道局)さんと、佐伯で実施しました。また、ZOOM を利用したことで、アラティさんは東京、尾寄さんは大阪、佐伯はカンボジアからのリモートインタビューが実現しました。以下、その様子です。

(佐伯孝志、  
JICA カンボジア専門家)



インタビューの状況  
上からアラティさん、  
尾寄さん、佐伯

#### 1. 新型コロナ禍での東京の留学生活

**Q(佐伯)** : 東京で生活して最初の印象はどうでしたか？

**A(アラティ)** : 東京は以前住んでいたカトマンズと同じように人が多いですが、一番驚いたことは、みんなが時間に正確なところ。あと、交通もバイクではなく電車中心だったことも驚きました。

**Q(佐伯)** : アラティさんも直ぐにメールの返信をくれて、日本人のようでしたよ。

## 51号 目次

- ・会員インタビュー・Ms. Arati、ネパールから東大への留学.....1
- ・第 8 回 Webinar「日本の小規模水道の現状と今後の展望」.....3
- ・留学生送別会兼懇親会報告.....4

アラティ・尾寄・佐伯、一同爆笑

**Q(尾寄)** : 留学期間中、ネパールに帰ることはできましたか？

**A(アラティ)** : コロナの影響があり、2年間で1度しか帰れませんでした。その代わりに毎日、旦那さんや家族と SNS で連絡をしていました。

**Q(佐伯)** : 東京の気候はhowですか？

**A(アラティ)** : 東京の気候はカトマンズと同じく四季があります。しかし、東京は夏の暑さや冬の寒さが厳しいですね。

**Q(尾寄)** : 東京での生活で困ったことは？

**A(アラティ)** : (新型コロナ感染拡大防止策で) 大学に満足に通うことができませんでした。

**Q(尾寄)** : (その期間)どのようなことでリラックスできましたか？

**A(アラティ)** : 近くの川沿いでサイクリングなどをして気分転換をしていました。

**Q(佐伯)** : 日本のスイーツはネパールと違いましたか？

**A(アラティ)** : 違いますね。私は抹茶アイスが好きになりました。

**Q(佐伯)** : 日本で好きになった食べ物は？

**A(アラティ)** : お寿司です。最初はワサビがダメでしたが、今では大好きになりました。好みの寿司ネタはサーモンやエビです。

**Q(佐伯)** : 沢山友人はできましたか？

**A(アラティ)** : 私は国際コースで勉強をしたので多くの留学生と友達になりました。特にルームシェアをした友人とは良い関係になりました。



## 2. 思い出の一枚

**Q(佐伯)** : 今日ご用意頂いている写真も友人との写真ですね。どういった思い出があるか教えてください。

**A(アラティ)** : 先月(7月)末に修士論文を書き終えた留学生の友人と、そのお祝いを兼ねて少しだけ集まったときの写真です。新型コロナの感染対策に気を付けて、新大久保のベトナム料理店でフォーを食べながらみんなで達成感と嬉しさで話が盛り上がりました。



新大久保のベトナム料理屋にて

写真は左側手前から奥へ Ms.Asti(インドネシア)、Ms.Tin(フィリピン)、Ms. Tuti(インドネシア)、右側手前から奥へ Ms. Shiela(フィリピン)、Ms. Nwe(ミャンマー・ルームメイト)、アラティさん。

このあと、ゲームセンターに行き、友人の1人が UFO キャッチャーで人形をゲットしました。私は見ていましたが大変楽しかったです。

## 3. 東大の修士論文

**Q(尾崎)** : ネパールの所属ではどのような仕事をしましたか？

**A(アラティ)** : 私は、DWSSM(上下水道局、留学直前は給水省)に所属して、国レベルでの水衛生分野で主にコミュニティ水道に関する業務指標等の情報の収集・整理・分析の仕事を担当していました。

**Q(佐伯)** : 大学での専攻は？

**A(アラティ)** : 私の専攻は、学士は土木です。ネパールの国内の Institute of Engineering のプルチョークキャンパスで取得しました。

**Q(尾崎)** : 東大での修士論文の題名を教えてください。

**A(アラティ)** : 私の修士論文の題名は “Quantitative analysis on service levels and water consumption inequalities of community-managed water supply systems in Nepal” です。

**Q(尾崎)** : この研究を通してどのようなことを学びましたか？

**A(アラティ)** : 私は、この研究を通してデータをどのように取得するかを学びました。また、指導教官の滝沢先生から、データの正確性や見方、どのように使うかなどを丁寧に教えて頂きました。

**Q(尾崎)** : WaQuAC-Netでもコミュニティ水道に注目しているので、是非、機会があれば紹介してくれますか？

**A(アラティ)** : はい。(尾崎、佐伯は「快諾」と理解しました)

## 4. ネパールに帰国後の展望

**Q(佐伯)** : 東大はこの秋にご卒業ですが、ネパールに帰ってからの展望(やりたこと)は？

**A(アラティ)** : 所属に戻って日本で勉強したことを活用したいです。特にコミュニティ水道の定量的評価に関して、ネパールの水道セクターを支えていきたいです。あと、プライベートでは、スパイシーなネパール料理を作ったり食べたり、ダサイン(ネパールの伝統行事)が近いので家族でお寺にも行きたいです。

## 5. その他

**Q(佐伯)** : WaQuAC-Net へ一言？

**A(アラティ)** : 様々な経験をシェアでき、ウェビナーも有用で、身近に相談できる環境だと思います。

**Q(尾崎)** : 将来の留学生への一言？

**A(アラティ)** : 2年は大変長くしんどいですが、もしチャンスがあれば、必ず挑むべき！有用な機会です。

**Q(尾崎・佐伯)** : アラティさんありがとうございました。(新型コロナの感染対策に気を付けて)卒業まで東京での生活を楽しんでください。(文責 佐伯)

**WaQuAC-Net 第 8 回 ウェビナー報告**

**日本の小規模水道の現状と今後の展望**

**発表者 浅見真理先生**

「日本の小規模水道の現状と今後の展望」と題して令和 3 年 7 月 17 日に第 8 回 WaQuAC-Net ウェビナーを開催しました。前回の第 7 回ウェビナーでは海外と日本の小規模水道について発表がありました。今回は、日本の小規模水道に特化して、浅見先生よりご講演いただきました。

参加者は WaQuAC-NET の会員のほか、大学、国、公益法人、水道事業体、企業、コンサルタントに所属する方等 44 名となり、多くの方に参加いただきました。

浅見先生からは、これまで行政の主眼として取り上げられてこなかった「小規模水道」について、厚生労働科学研究費補助金を活用して実施中の「小規模水供給システムの持続可能な維持管理に関する統合的研究」の内容も含めて、小規模水道事業体の現状、水質・技術・予算上の課題、今後の方向性について、前回より詳細に踏み込んだ内容を発表いただきました。

講演の後の Q&A セッションでは、学識経験者、行政、水道事業体、メーカーなど、多方面の立場から多くの質疑や活発な議論が交わされ、とても有意義なウェビナーになりました。

今回のウェビナーでは、日本の小規模水道には多くの課題があり、これらの課題解決に向けた取り組みの必要性が確認されました。そのためには、持続可能な技術の導入や、電気・ガス・福祉といった他業種とのコラボレーションの必要性についても議論されるなど、海外の水道事業体支援にも通じるものがありました。

本テーマはとても重要なため、小規模水道の課題解決に向けて、継続的に取り組んでいきたいと考えています。

**1. 第 8 回ウェビナー運営骨子**

形式: ZOOM 座談会

開催時間: 20:00~22:00

参加者: WaQuAC-NET 会員、会員推薦者

言語: 日本語

主催: WaQuAC-NET

講師: 浅見 真理先生

(国立保健医療科学院上席主任研究官)

司会: 小野 好信



**第 8 回ウェビナーの参加者**

議事進行

- ・開始・事務連絡(司会)
- ・WaQuAC-NET 紹介(鎗内美奈)
- ・ウェビナー開催の経緯説明(亀海泰子)
- ・講演(浅見真理)
- ・Q&A(司会)
- ・閉会挨拶(小野)

2. 発表内容

■ 当日の発表資料を参照ください

WaQuAC-NET の Web ページの資料集に掲載されています。(下記リンクからご確認ください)

[PowerPoint プレゼンテーション \(waquac.net\)](http://waquac.net)

3. アンケート結果(要約)

■ 小規模水道の課題解決について

- ・課題解決の場になることを期待する。私も協力したい。
- ・小規模水道は事業継続が難しい。従来の延長線上では解決しない。
- ・他業種コラボは検討の余地がある。
- ・日本国内でも専門家の技術を必要としている。国内にも目を向ける必要がある。
- ・小規模水道については住民の意見をもっと聞くべき。住民、自治体の参加を希望する。
- ・持続的技術は新しければよいというものではない。
- ・水供給の多様化について考える必要がある。
- ・日本の小規模水道は福祉や都市計画など学際的検討が必要。

■ テーマへの意見・感想

- ・テクニカルから政策まで広がり、興味深かった。
- ・今回の講演内容は海外会員にも有益。
- ・人口減の日本と人口増のアフリカと同じ課題。
- ・良い交流の場となった。
- ・一口に小規模水道といっても様々でイメージ共有が難しかった。
- ・興味あるテーマで、協力隊で途上国に行く前に聞きたかった。

■ ウェビナーの雰囲気・運営

- ・ウェビナーでこのような会議ができるのは素晴らしい。
- ・非会員に門戸を開いていただきありがとう。
- ・参加人数が多い場合コメンテーターが必要。(了)



5 名の留学生は、JICA プログラム「水道分野中核人材育成コース」\*1 で 2019 年秋に来日しました。彼らは 2 年間、東洋大学、東京大学の修士課程で日本の水道経験や技術を学び、自国の水道事業における課題を研究テーマに据えて調査・研究をしてきましたが、今年 9 月無事修了することができました。

WaQuAC-Net では彼らの 2 年間の努力を称え、また修士課程修了を祝って送別会兼懇親会を 9 月 10 日に ZOOM で開催しました。

5 名の方が学んだ大学、出身国、所属機関は以下の通りです。

Mr. Chenda Pharith

東洋大学、カンボジア、プノンペン水道公社

Ms. Indrastuti

東京大学、インドネシア、公共事業・国民住宅省

Ms. Tiasti Wening Purwandari

東京大学、インドネシア、公共事業・国民住宅省

Ms. Arati Shrestha

東京大学、ネパール、上下水道局

Ms. Nwe Nwe Zin

東京大学、ミャンマー、ヤンゴン市開発委員会

彼ら 5 名は 2019 年 12 月 24 日の [WaQuAC-Net 忘年会](#) に参加、対面で親しく歓談しましたが、その後はコロナ渦で実際に会うことができませんでしたが、ウェビナーにも積極的に参加していただきました。



居酒屋で、今では貴重な対面でのパーティ

ゲスト以外の参加者は Ms.Khodseewong (Nan), Mr.Christopher, Mr.Evode, Mr.Mphatso, 笹山さん, 亀海さん, 国安さん, 五十嵐さん, 浅見さん, 鎗内さん,山本の 11 名、合計 15 名でした。

司会は鎗内さんが勤め、始めに山本がお祝いの言葉を述べ、浅見さんの音頭で乾杯をしました。次に参加者全員の自己紹介があり、ゲスト4名 (Ms. Nwe は帰国が早まり欠席)の修士論文についての簡単な発表・質疑が行われました。

4 名の修士論文は以下の通りです。

Mr.Chenda はプノンペン水道公社の無収水調査と原因究明(多いのはメーター箇所)

Ms. Indrastuti はジョグジャカルタ地方の飲料水として使われている井戸の水質汚染と家庭用の浄水方法として;塩素注入、セラミック膜ろ過処理、逆浸透膜ろ過+紫外線殺菌 (RO+UV)の3処理方法の比較評価。

Ms. Tiasti はインドネシアの小さな島3か所での逆浸透膜 (RO)を使った海水淡水化施設の評価。

Mr. Arati はネパールのコミュニティが管理する水道のサービスレベルと利用水量の不平等についての量的分析。

次は鎗内さんの提案でゲームタイム。ゲストの皆さんが日本のお土産としてどんなものを選んだか?を他の参加者が推測するというゲームをしました。

結果、ゲストの皆さんが選んだのは日本酒、日本茶、コーヒー、タンブラー、インスタントラーメンなど日本人参加者の予想外なものが含まれていました。国安さんはカンボジアで地元のインスタントラーメンをお土産に買ったと報告、今や世界的な普及品のインスタントラーメンは、国によって味や中身が違ってお土産としては最適品なのかもしれません。

最後にみんなで寄せ書きをし、記念写真、歌そして突然のご指名の笹山さんによる4名のゲストへのメッセージ「皆さんが帰国後も WaQuAC-Net との関係を継続し、オンラインウェビナーやパーティなどへ参加してください」と締めて終了しました。

なお、5 名の修士課程修了者の皆さんにはお祝いに WaQuAC-Net からボールペンを贈りました。



(文責山本)

The collage features several messages:

- Be a leader of water supply! (Yasuko Kamegai)
- Fight for the best, and be happy. Tiasti
- Be a bridge between your country and Japan (Mari Asami)
- Congratulations on your successful graduation. Best of luck in life. (Mphatso Mtambo)
- Keep in Touch! Mina Yariuchi
- All the best in your future career ( Evode)
- Pls. come to Japan again; Sasayama
- Keep Your health by Yamamoto
- I wish you happiness!. NAN
- Congrats! Wish all of you will have success carrier in your country! Jin
- Unforgettable experience to stay and study in Japan. Thank you so much. Indras Tuti
- Nice meeting to you all. Thank you! Arati
- Stay safe and enjoy Japan (Pharith)
- With love and pride today and always, Congratulations. Chris
- I will listen to the online seminar on 27 Sep. Look forward to see you again then. Akiko Kuniyasu, YWWB

\*1 : JICA「水道分野中核人材育成コース」は開発途上国の水道分野の発展を支えるリーダーとなる人材を東洋大学と東京大学の大学院で学ぶ機会を提供するプログラム

なお、9 月 21 日に東京大学・JICA 連携留学生プログラム「水道分野中核人材育成コース」研究報告会が開かれ Ms. Indrastuti, Ms.Tiasti, Ms. Arati, Ms. New が研究成果を発表しました。

**新会員紹介（順不同 敬称略）**

- Anjana Maharjan (Nepal)
- Charles Kachingwe (Malawi)
- 美和清二 (日本)

**趣旨に同意いただける方を募っております。  
入会は事務局まで。**

**WaQuAC-NET 会報 第 51 号**

**発行：2021 年 10 月 26 日**

**WaQuAC-NET 事務局**

連絡先：[waquac.net@yahoo.co.jp](mailto:waquac.net@yahoo.co.jp)（鎗内）

URL：<https://www.waquac.net>

**今後の活動予定**

10 月 28 日 第 8 回大阪集会

10 月 Newsletter vol.50 発行

11 月 15 日 Newsletter vol.51 発行

12 月 忘年会